

記入日 2021 年 11 月 13 日

一般社団法人日本薬学生連盟 2022 年度本部立候補申請書

立候補者氏名	中井 悠花
立候補する役職	交換留学委員長
大学/学部/学科	大阪大学/薬学部/薬学科
学年	3 年
所属	交換留学委員会、国際渉外部、プロモーション部
日本薬学生連盟での活動経歴	2019 年 日本薬学生連盟入会 2020 年 交換留学委員会関西地域副リーダー 2021 年 交換留学委員長
立候補動機	私は 2021 年 4 月から交換留学委員長を務めてまいりました。委員長としてスタッフと共に活動する中で、委員会の発展および日本の薬学生の国際的な活躍のためにできることがまだまだあるのではないかと感じ、2 年連続ではありますが交換留学委員長に立候補いたしました。
問題点と改善案	<p>現在抱える課題は以下の3点であると考えています。</p> <p>①英語能力を向上させたいというニーズに応えられていない ②交換留学プログラム(SEP)の認知度が低い ③委員会が形骸化しつつある</p> <p>交換留学委員会には、海外に興味がある、または英語を上達させたいなどの思いで多くのスタッフが所属し活動しています。2021 年度はオンラインで薬局を見学した”Online Community Pharmacy Tour”やオンラインでの夏 SEP、さらには海外の学生との少人数で話す機会を設けたりと海外の薬学生と交流する機会は提供できていると考えています。しかし、課題①に挙げたように様々なレベルに合わせて各自が英語能力を向上させられるサポートはできていません。そこで解決策として、来年度は定期的に英語を使う、アウトプットできる機会をスタッフに向けて提供したいと考えております。例えば、初級者向けには英語で簡単なゲームを行うことで英語を使うこと自体への抵抗感をなくすこと、中級者・上級者向けにはテーマを決めて実際に英語で話したり海外の学生と少人数で話す場を設けたりすることを計画しております。英語を話すことに自信が少しでも持つことができれば、夏・冬の SEP においても積極的に留学生と交流することができるようになります。</p> <p>2021 年度に開催したオンラインSEPでは海外から参加者は 150 人を超え、海外学生に対するアプローチは十分にできていました。それに対して、国内からの参加者は交換留学委員会のスタッフを除くと、スタッフ会員、レギュラー会員、非会員含めてほとんどいなかったことから、課題②の通り SEP の認知度が低く海外に興味を持つ日本の薬学生へアプローチができていないと考えます。また例年では海外へ留学する SEP の outgoing では日本は参加率がとても低く、このままでは新型コロナウイルス感染拡大の影響が緩和された際に outgoing への参加を希望する薬学生に適切に機会が提供されない可能性が高いと考えられます。そのため、来年度には SEP の incoming の広報および海外団体の受け入れ先の紹介など SNS を通して力を入れて行い、SEP をもっと多くの薬学生に知ってもらい今後の SEP への参加者を増やすことができると考えています。</p> <p>本年度、交換留学委員会ではオンラインでイベントを開催する状況下において、私自身の力不足もございましたが、SEP を開催しなければならないという義務感からイベント開催しようとするスタッフが多かったように感じました。自分たちがやりたいことは何か、どうすれば海外の学生からたくさん学ぶことができるか、どういった企画が必要なのか、などをじっくりとは考えずにやらなければいけないからやる、できれば準備が楽なものをする、といった流れがありました。これは課題③の委員会の形骸化と言えます。本来、SEP は自国と海外の薬学事情の違いを学ぶこと、海外の薬学生と交流すること、英語能力を向上させることを目的としています。しかし前述のような姿勢ではスタッフや参加者が目的を達成できるようなイベントを提供できません。そこで来年度は SEP を開催する本来の目的をもう一度スタッフ、特に地域リーダーの間で確認してそれを踏まえてイベントの企画・運営を行っていきます。</p>

<p>活動計画</p>	<p>【年間スケジュール予定】</p> <p>4月 地域リーダーミーティング、新規スタッフ獲得、スタッフ交流会</p> <p>5～8月 オンライン夏 SEP の企画・運営 (3～8月 夏 SEP(対面実施)の企画・運営)</p> <p>10月 地域リーダーミーティング、新規スタッフ獲得、スタッフ交流会</p> <p>11～2月 オンライン冬 SEP の企画・運営 (9～2月 冬 SEP(対面実施)の企画・運営)</p> <p>3月 年会でのワークショップ開催、後任への引継ぎ</p> <p>【通年で行う活動】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・海外の団体が主催するオンラインイベントのスタッフへの紹介 ・英語能力を向上させる機会の定期的な提供 ・交換留学プログラム(SEP)の SNS を通じた広報活動
<p>所信</p>	<p>次年度は対面でのイベントを開催できる“コロナ後”をも見据えて活動していきたいと思えます。対面での SEP を開催できるようなチームの基盤づくり、スタッフ全体の英語能力の向上を目指します。また日本薬学生連盟本部としては、将来海外で活躍したいと考える薬学生に対して海外の薬学生と交流する機会、英語能力を向上させる機会を提供していきたいです。また、多くの薬学生に海外学生との交流を経験してもらうことで、改めて日本の薬剤師やその他の薬学事情を見つめ直すきっかけとなり、より幅広い視野を養える場を提供していきたいと考えております。1年間交換留学委員長として活動し、リーダーとしてスタッフを率いることやチームをまとめることの難しさを痛感いたしました。本年度の経験を生かして委員会および団体のさらなる活性化のためにスタッフと協力して様々な活動を行ってまいります。</p>